

# アウトプット・データ管理

## アウトプット

データファイル（LAN接続）、デジタルビデオプリンター、DICOM接続対応（オプション）など、用途に合わせた出力方法をお選びいただけます。

## ファイリング機能

本体内に撮影画像や解析結果を自動で記録し、データ検索も行えます。また、当社従来機器からのデータの引継ぎも可能です。

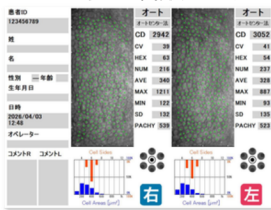
## 保存データの入替え

同患者かつ同日のデータであれば左右眼の組合せを変更できます。

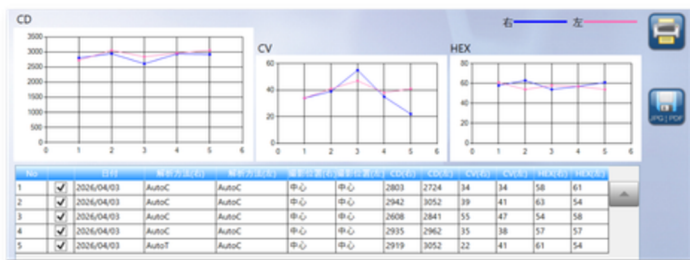
## 経過観察

患者データの経過表示を行えます。

ファイリング出力サンプル



経過観察サンプル



## 仕様

撮影方式	非接触式
撮影視野	0.25 × 0.55mm
撮影方法	自動撮影
撮影部位	中心1点、周辺部6点（0°、45°、135°、180°、225°、315°） 外側周辺6点（60°、90°、120°、240°、270°、300°）※外側周辺はPLUSのみ
角膜厚	測定可能（中心のみ）
撮影照明	LED
解析方法	オートセンター法/オートフレックスセンター法/オートトレース法/センター法/フレックス法/トレース法
解析データ	細胞密度(1mm <sup>2</sup> あたりの細胞数)、標準偏差、変動係数、六角形細胞出現率(%)、平均細胞面積(μm <sup>2</sup> ) 最大細胞面積(μm <sup>2</sup> )、最小細胞面積(μm <sup>2</sup> )、解析細胞数、細胞角数分布グラフ、細胞面積分布グラフ
内蔵モニター	10.1インチ静電容量方式タッチパネル(マルチタッチ)、水平・垂直180°可動
ファイリングシステム接続	接続可能/DICOM対応あり(オプション)
外部インターフェイス	USB3.0 × 4、LAN
電源電圧	AC100-240V、50/60Hz
電源入力	100VA
外形寸法	310(W) × 459(D) × 451(H)mm(モニター背面時)
重量	19.6kg

※改良のため記載の内容及び仕様は予告なしに変更することがあります。

販売名：コーナンスペキュラーマイクロスコープXX  
医療機器認証番号：304AGBZX00031000

製造販売元

株式会社 コーナン・メディカル

〒662-0976 兵庫県西宮市宮西町10-29

TEL.0798-36-3456(代) E-mail: request@konan.com

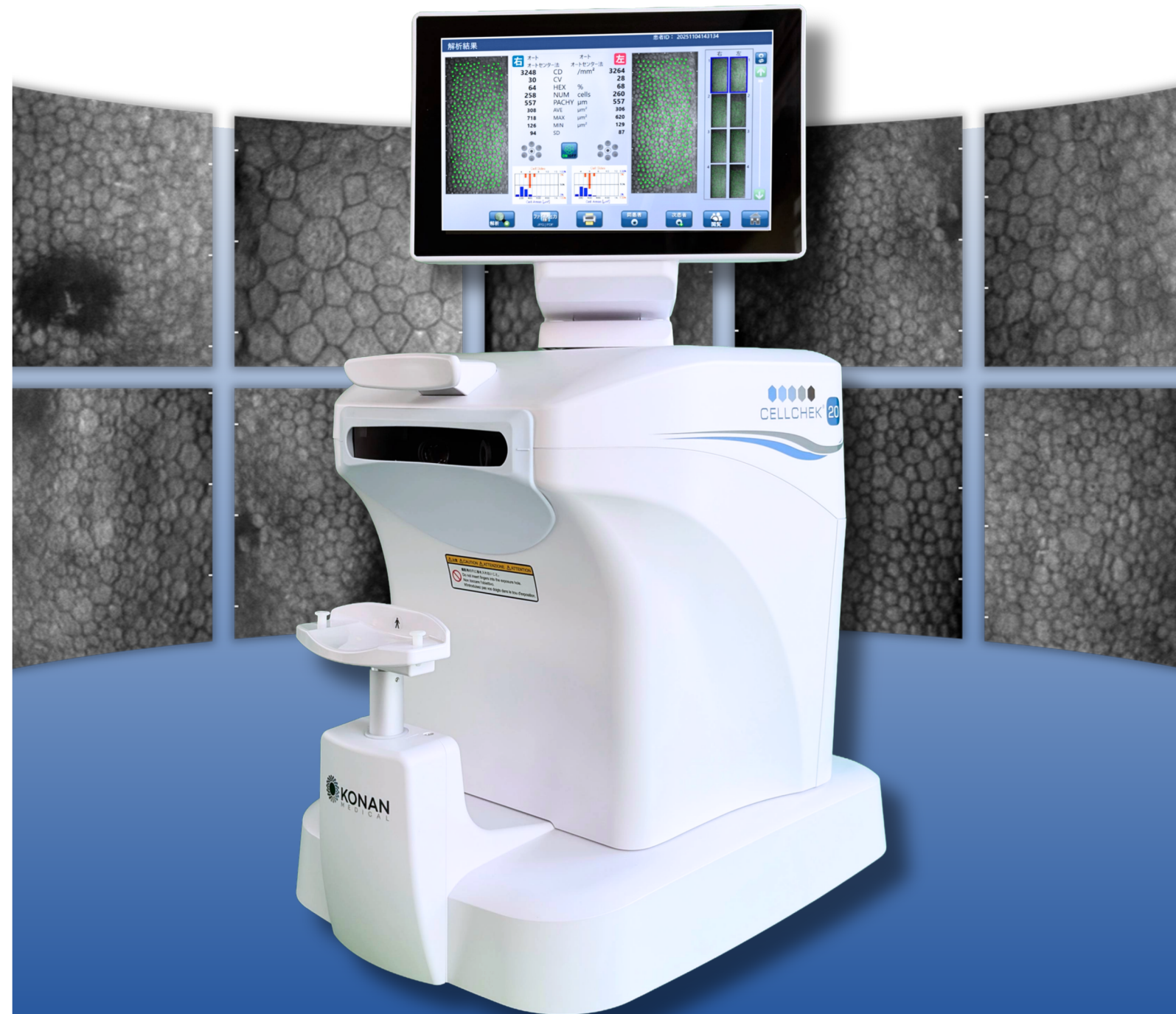
営業部：西宮TEL.0798-36-3455 東京：TEL.03-5337-2025

<https://konan.com/ja/w/>

3000.26.06A



スペキュラーマイクロスコープ  
(角膜内皮細胞撮影装置)



# 撮影ポイントを"PLUS"し 新サポート機能も搭載

## 撮影ポイントを追加

PLUSのみの新機能

**撮影ポイント追加**

従来※の周辺部よりさらに外側に6点追加しました。これにより、角膜混濁などで中心付近が撮影しづらい場合への対応に有用です。 ※当社CellChek SLとの比較

**PLUS**

- 3時、9時方向
- 2時、4時、8時、10時方向
- 中心1点、周辺部6点

**PLUS以外**

- 中心1点、周辺部6点

## 撮影・測定

新サポート機能

**額当てセンサー**

撮影時に額が離れると前眼部画像の右上にアイコンが表示され、撮影結果画面でも確認できます。これにより、額が離れたことによる撮影エラーを軽減できます。

**ライブビュー撮影**

撮影の直前までスリット映像を表示し、撮影状況を確認できます。

### 撮影部位の確認

前眼部画像上で実際の撮影部位を確認できます。インフォームドコンセントなどに有効です。

### 撮影リトライ機能

瞬目や睫毛の影響などで撮影できなかった場合に、設定した撮影回数を自動でリトライします。

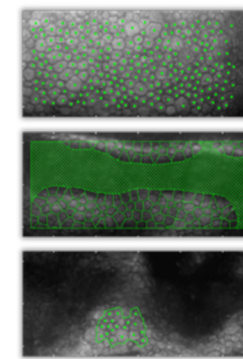
### 角膜厚同時測定

中心角膜厚の同時測定が可能です。

### マニュアル撮影

病変角膜など、撮影に技術を要する角膜に有用です。

## 解析



### オートセンター法

角膜内皮解析のゴールドスタンダードである「センター法」（細胞中心点を入力する解析法）を自動入力します。タッチ操作で修正も容易です。

### オートトレース法

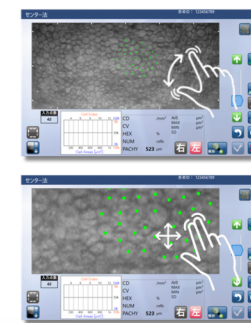
角膜内皮細胞の輪郭に沿って自動でトレースする解析方法です。解析に適さない部分が多い場合にも有効です。

### オートフレックスセンター法

角膜内皮細胞の周囲を囲う線と、その内側の細胞中心点を自動入力して解析します。撮影された細胞が少ない場合でも、解析が可能なモードです。

オート解析に加え、マニュアル入力の「センター法」「トレース法」「フレックスセンター法」も搭載。

## マルチタッチディスプレイ



静電容量方式マルチタッチディスプレイの採用により、ピンチイン、ピンチアウトの操作で画面の縮小や拡大が可能です。マニュアル入力や解析データの修正も容易です。

二本の指でスワイプすれば画像を拡大したままで表示範囲の移動もできます。



## フレキシブルモニター



10.1インチの大画面タッチモニターは多方向に可動します。

対面・非対面・側面など、使用環境に応じて設置でき、さまざまな角度から被検者のサポートが可能です。

本体は測定中に可動部分がなく、スペースに応じた設置レイアウトが可能です。